

『母子クジラのサンクチュアリ』の設定

サスティナブルツーリズム（持続可能な観光）とは、陸や海に関わらず地域の自然環境を守りながら、観光業を活性化させ、住民の暮らしを良くしていくことを目指した言葉です。環境汚染や自然破壊などにつながる商業化を避けて、地域の自然や文化を活かした観光地づくりを目指すには、保護区域の設定は重要なことです。

座間味村周辺海域は、我が国における代表的なザトウクジラの繁殖海域であります。島影の多い温暖で静かな内海は、母クジラが子育てしやすい重要な場所です。さらに内海は陸から近いこともあり母子クジラのはほえましい姿が陸からも観察することができます。「サスティナブルツーリズム」を推進するにあたっては、母クジラが安心して子育てが出来るように保護区域の設定が必要ですので、次のとおり『母子クジラのサンクチュアリ』を設定します。

1、設定区域

座間味島阿真シル西～嘉比島西～嘉比島南～安慶名敷島南～安室島漁礁ブイ～安室島を結んだ区域

※別紙参照

2、区域内の規制事項

「母子クジラのサンクチュアリ」の区域内においては、船からのホエールウォッチングは禁止とする。

但し調査を目的とした調査船は可能とする。その場合、調査船は「調査船旗」を掲げるものとする。

補足

内海に保護区域を設定することで、陸域からのホエールウォッチングの機会が増えることが期待されます。展望台やウォーキングなど陸域メニューの魅力アップにもつながり、特に「ウルンノサチ」など島の海岸からのウォッチングは、新たな名所になることが期待できます。

母子クジラのサンクチュアリ

座間味島阿真シル西～嘉比島西
～嘉比島南～安慶名敷島南
～安室漁礁のブイ～安室島を
結んだ内海のエリアは、
船からのウォッチング禁止。

(ただし、鯨類調査等の調査船は可能。
その場合「調査船旗」を掲げるものとする。)

ホエールウォッチング協会員の他、
ダイビング協会や漁協、
マリンレジャー協会等にも
協力をお願いし、みんなで見守る。
ウルクサチなど海岸線は、
「陸からホエールウォッチング」
できる新たな名所に。

